

## 参加要項

### <開催方法>

開会集会・記念講演・講座3・閉会集会…ハイブリット  
講座2・講座4…録画配信  
講座1…会場参加者のみ

※録画配信期間…記念講演・講座2・3・4は10月23日(月)～11月5日(日)まで

<参加費> 2,500円

<申込み締切・振込期限>

申込み締切 2023年9月24日(日)必着

振込期限 2023年9月29日(金)まで

<申込方法>

1) 基本的には個人でのお申込みをお願いします。

複数名で申し込まれる場合は、一度の申し込みで5名までとなっておりますので、重複しての申込みがないようお願い致します。

※複数での申込みの際は、1には代表者の名前を記入してください。

参加申込み(名前記入)以降の質問で名前(2～5)とありますが、名前を記入した番号と答える番号を同じにしてください。  
(名前2で記入した方は、名前2の方、でお答えください。)

下記のQRコードを読み取りお申込みください。



QRコードが読み取れない場合は、下記のURLでお申し込みください。

<https://forms.gle/ShENQGGulsRKNBk78>

2) お申込みの際は、申込みサイトの指示に従い、登録に関する

基本的な情報(氏名・所属・メールアドレス等)と希望の講座にチェックしご記入ください。

3) 一台のパソコンで複数の方が参加することができます。

ただし、参加される方全員の申込みが必要です。

4) 講座によっては人数制限がありますので、ご了承ください。

5) 集会要綱は、参加費入金後に入力していただいたアドレスにPDFで送ります。

※参加費1人 2,500円 基本的には、個人でお申込みください。

まとめて申し込まれる方は、2,500円×人数分を振り込んでください。

6) 参加費は下記の指定された銀行口座に、代表者の名前でご入金ください。

【参加費の振込先】

ゆうちょ銀行 記号：19430

番号：2411

口座名義：ハコダテホイクモンダイケンキュウカイ

# 第47回北海道保育問題研究集会ご案内

《集会テーマ》

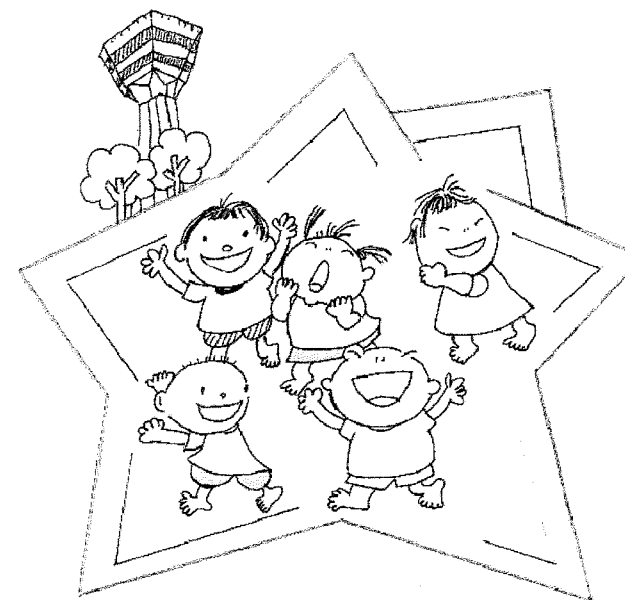
## ひろげよう 平和の願い

～とどけよう 豊かな未来を子ども達へ～

《サブテーマ》

## つなげよう 大人の手と手と手 守ろう 子どもの未来

すべての子どもの幸せのため、保育の公的責任の拡充を求め  
安心して保育・子育てができる環境をつくろう。



と き:2023年10月8日(日) 13時～16時45分

ところ:つくしの子保育園(函館市亀田中野町57-15)

Tel.0138-46-8874

主催：北海道保育問題研究協議会

共催：函館保育問題研究会

2023年10月8日(日) ハイブリッド・録画配信

12:30	13:00	13:15	14:45	15:00	16:30	16:45
受付	オープニング 開会集会 基調提案	記念講演	休憩	講座	閉会集会	

- 開会集会 13:00~13:15  
 ・オープニング ぶち合わせ太鼓(函館保問研)  
 ・歓迎のあいさつ 函館集会 実行委員長  
 ・主催者あいさつ 北海道保育問題研究協議会会長

青山 真智子  
川田 学

○記念講演 13:15 ~ 14:45

「心が育まれる3つの間」

講師：平野 直己 氏 (会場・ZOOM)



＜プロフィール＞  
 北海道教育大学教授  
 臨床心理士 (臨床心理学・  
 教育相談について講義)  
 児童期・思春期の子どもの心の  
 発達と援助を専門としている。  
 著書「学校臨床理学入門」「心理学の 専門性」

ひとのころはどこで生まれ育つのか、という問いについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。そのキーワードとして、「空間(場所)」「時間」「人間(対象)」を挙げ、事例をもとに考えるヒントを提供します。  
 子どものころを育む3つの“間”を提供する保育の場において「子どもに問うこと」の大切さについて提案し、会場の皆さんの経験と交流し、誰も見たことのないところを大事にすることの愉しさを共有する時間になれば幸いです。

○講座 15:00 ~ 16:30

講座1 「平野氏を囲んで」 講師 平野 直己 氏 (会場参加者のみ)

記念講演に引き続き平野先生に講座をしていただきます。講演の余韻を感じながら平野先生を囲んでたくさん語り合しましょう

講座2 「保問研の歴史」 講師 多田 泰子 氏 (録画配信)



今と違う当時の保育状況の中で“主体的に学びたい”という意欲を抱きながら学識者の方々に学び、保育者仲間と共に北海道保問研を立ち上げ切り開いてきました。保育者として、人として学ぶ大切さを保問研の歴史を通しお伝えしたいと思います。

＜プロフィール＞  
 元北海道保育問題研究会会長 北海道大学の城戸幡太郎先生が北海道保育問題研究会を設立したころから携わっている。元北の星東札幌保育園園長

講座3 「子どもの育ちや生活の中からジェンダーを考える」  
 講師 日沼 慎吉 氏 (会場・ZOOM)



「自分の中にあるジェンダー意識ってどんなこと？ジェンダー平等社会は実現されつつあるの？」「子どもはいつ頃から男女意識を持ち始めるの？男の子遊び、女の子遊びはOK？絵本はどんな役割が？お父さん役割、お母さん役割を当たり前前に語っていいの？・・・」今、話題のジェンダーが社会にどう現れているのか、子ども達の育ちにどんな関わりを持っているのか一緒に考えあいましょう。

＜プロフィール＞  
 元私立高校校長  
 函館出身。「特進クラス」を作らない独自の民主的な教育づくりを進めてきた東京の私立高校で42年間勤務、9年間校長を務め退職し函館へ。退職までの20年間、ジェンダーを視点に据えた総合学習「性と生」の授業づくりを進めてきた。現在も函館で公立中学校のお手伝いをしながら学校教育に関わっている。

講座4 「子どもたちに平和な未来を！」～函館から平和、原発を考える～

講師 本間 勝美 氏 (録画配信)



ウクライナ戦争では多くの子どもたちの命が奪われています。この戦争をきっかけに、二度と戦争をしないと誓った「憲法」を持つ日本は、5年間で43兆円を軍事費につぎこみ世界第3の軍事大国になろうとしています。そのお金を教育や福祉に使ったら、私たちの暮らしはどんなに豊かになるでしょうか。そして原発です…福島原発事故をきっかけにドイツは脱原発に踏み出し、4月すべての原発を停止させたのに日本は原発回帰です。平和・憲法・原発の現在(いま)をお話しします。

＜プロフィール＞  
 函館平和委員会 常任理事・大間原発訴訟の会運営委員